

## 『青少年安全・安心ネットづくりセミナー』を開催

北陸総合通信局（局長：齊藤 一雅）は、北陸情報通信協議会（会長：永原 功 北陸経済連合会会長）及びいしかわ青少年安心ネットづくり実行委員会（委員長：池崎 正典 北陸携帯電話販売店協会会長）との共催及びいしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会（10月19日に設立）などの後援により、同日、KKRホテル金沢において、『青少年安全・安心ネットづくりセミナー』を開催し、教育機関、PTA、自治体、電気通信事業者など90名の方々が参加されました。

冒頭、苑田情報通信部長が「スマートフォンは携帯電話にパソコンを追加したようなものであり、パソコンと同じような注意を払う必要がある。青少年が安心して安全にスマートフォンを利用することができるよう、具体的な事例や対策を学んでほしい。」と挨拶しました。

講演Ⅰでは、尾花 紀子氏（ネット教育アナリスト）が『「学びの先送り」と「知っているつもり」が一番危ない！今、確認しておこう、ケータイ&スマートフォンのこと』と題して講演され、「身近な大人が手本を見せることが大切。子どもにいきなり携帯電話を持たせるのではなく、まずは保護者が管理しながら必要なときだけ使わせる『貸し出しケータイ』も一案ではないか。」と訴えました。

講演Ⅱでは、長谷川 陽子氏（有限会社Willさんいん代表取締役）が『自分の身は自分で守る！インターネット社会～リスクナレッジ・リスクインフォメーションの必要性～』と題して講演され、「ネット社会の危険性を認識し、セキュリティ度を自己チェックする必要がある。携帯ブログでは子どもたちが危険性を認識せずに個人情報から自ら送信している。」と指摘し、事例を紹介しました。

参加者の関心は高く、アンケートでは、「子どもと親のそれぞれのペースに合わせた教育が必要」、「子どもがスマートフォンを持つ前に、親の側が使いこなす必要がある」などの沢山のご意見が寄せられました。



主催者挨拶 苑田情報通信部長



講師 尾花 紀子 氏



講師 長谷川 陽子 氏



90名が参加し、盛況だったセミナー



お問い合わせ先：情報通信部電気通信事業課 076-233-4422